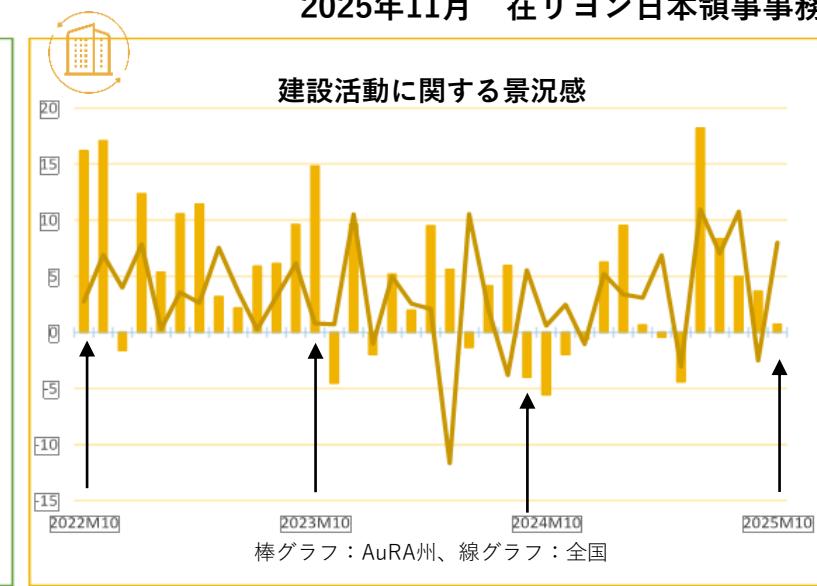
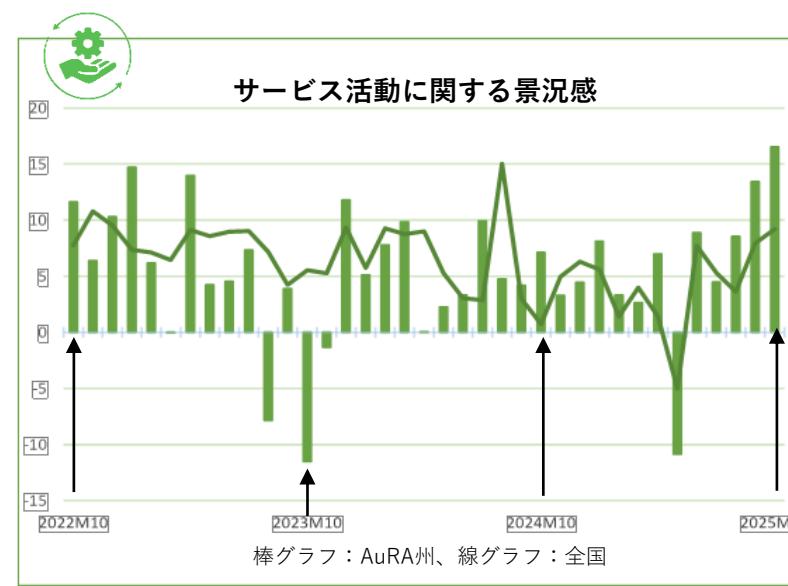
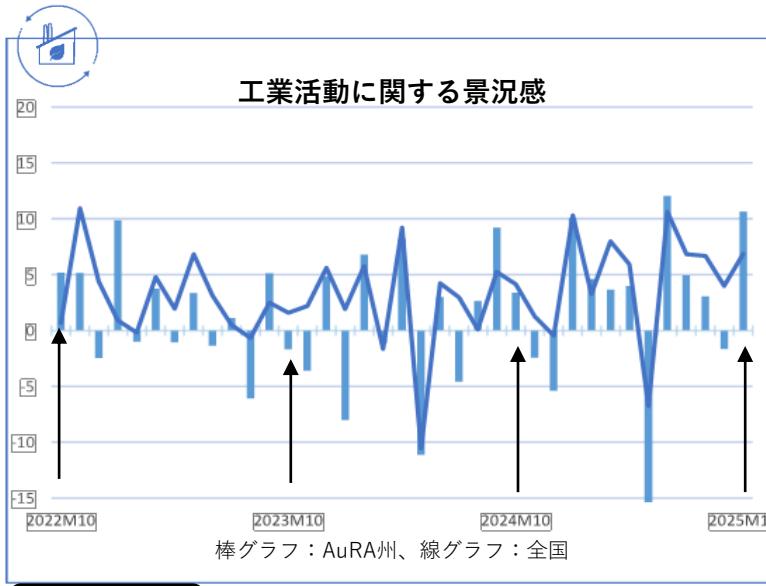


オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州における景況感調査（2025年10月）

2025年11月 在リヨン日本領事事務所

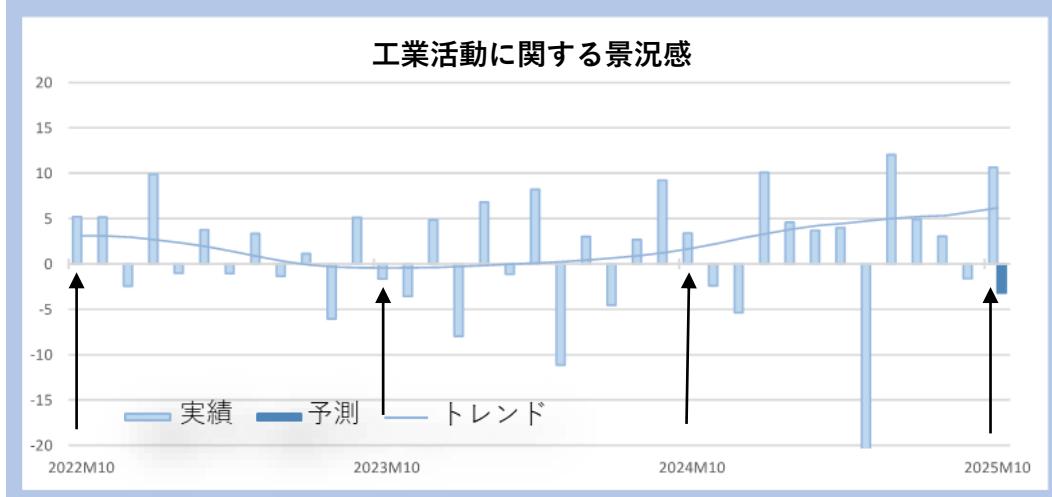


ポイント

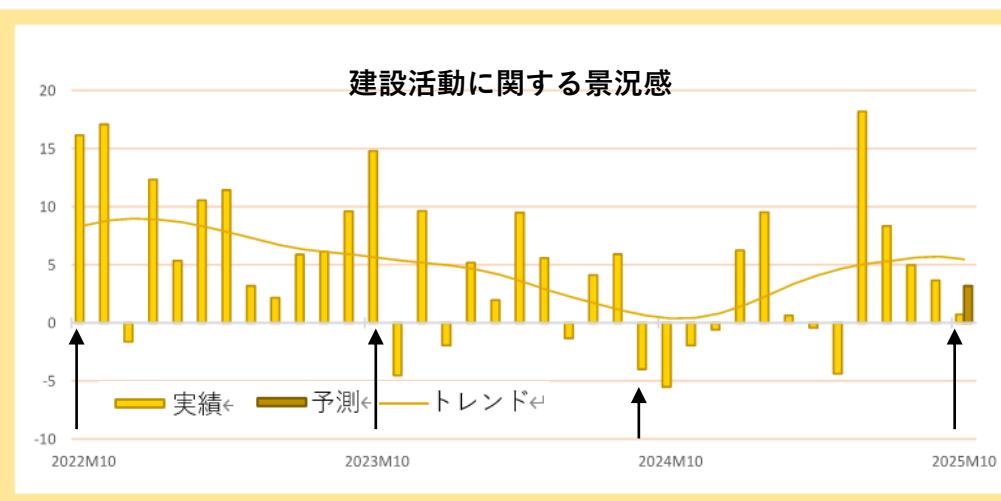
- AuRA州の景況感は9月に全般的に足踏みした後、10月には工業活動が回復、サービス活動は活況を維持したが、建設活動はほとんど変化がなかった。
- AuRA州の**工業部門**の景況感は全国平均を上回る大幅な伸びを示した。生産能力の稼働率は回復し、第1四半期と同水準に戻った。原材料及び完成品価格は横ばいで、雇用は再び減少した。全般的な需要は堅調に推移しているが、受注残は依然として不十分と見られている。11月は活動がやや減速するとの見通し。
- **サービス部門**は、需要に支えられ、AuRA州の景況感は再び加速した。雇用は緩やかに推移しているが、特定の業界では有資格者の採用難が指摘されることが増えている。短期的には企業経営者は、新規の受注の増加を見込んでいる。
- **建設部門**では、地方における景況感は安定しているものの、全国的には後退傾向にある。基礎工事は下降傾向が続き、受注残高は不十分なまま更に減少している。内装工事の受注残高はより安定しているが、10月の伸びはわずかだった。見積価格の下落はさらに顕著になった。政府予算や税制に関する不透明感から、全般的に様子見の姿勢が強まっており、業界関係者は慎重姿勢で今後数週間は現状維持を予想している。
- 工業部門の資金繰りは安定しているものの、サービス部門では顧客による支払遅延のため資金繰りが逼迫していることが指摘されている。特に、会計・法務・IT関連セクター、飲食セクターでこの傾向が顕著である。

- フランス銀行がAuRA州の工業、サービス業、建設・公共事業の各セクター1,150の企業と事業所を対象に、景況感について調査を実施（2025年10月29日～11月5日）。
- 景況感（le solde d'opinion）とは、企業経営者による肯定的意見と否定的意見の合計を、企業の従業員数で加重平均し、各部門の付加価値で調整したもので、企業経営者による7段階評価の回答を集計した指数であり、その値は-200から+200の範囲となる。季節調整済み及び稼働日調整済みデータを使用。
(出所: Banque de France, [Tendances régionales : Auvergne-Rhône-Alpes](#))

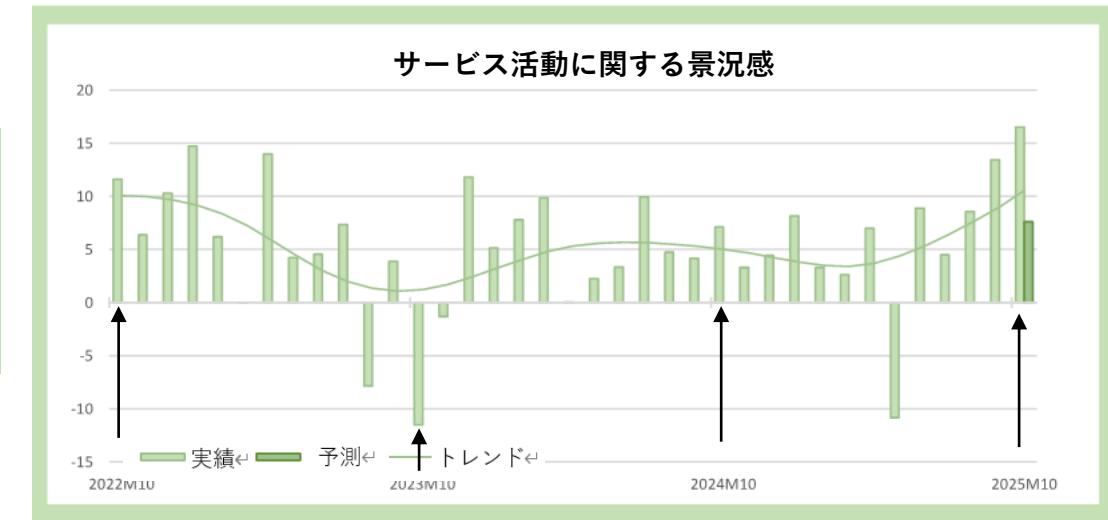
オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州における景況感調査（2025年10月） ：実績、翌月の予測、トレンド



9月にみられた好調な勢いは10月に更に強まった。IT及びエンジニアリング及び技術研究セクターは、より緩やかな伸びを示しているが、これらを除く全てのセクターでは大幅な伸びを示している。雇用はわずかに増加し、サービス価格は大幅に上昇した。短期的には、企業経営者は好調な需要の持続を見込んでおり、業務の更なる増加を予測している。



10月の工業部門の景況感は堅調で、9月に見られた夏期休暇後の活動の低迷を若干取り戻した。この勢いはほぼ全てのセクターでみられるが、ゴム・プラスチック製造セクターではなく、化学セクターでは後退気味。雇用はわずかに減少。完成品の在庫は安定し、全体としては予想を上回る水準を維持している。受注はわずかに増加したが、依然として不十分とみられている。その結果、企業経営者の見方は慎重であり、11月には活動がやや減速すると予想されている。



建設業部門の景況感は過去数ヶ月間伸長した後、10月には落ち着きを見せた。内装工事はわずかながらも好調を維持したが、基礎工事は引き続き受注量が減少。雇用は横ばいで推移した。受注残は、特に基礎工事において大幅に減少した。こうした状況下で、見積価格の下落が加速しており、短期的にはこの傾向が続く見通し。企業経営者による11月の活動予測は慎重で、基礎工事では売上がわずかに減少、内装工事ではより好調な推移を見込んでいる。